

体と心を健康に。  
地域に元気を発信する広報誌。

〈特集〉

## 北館新病棟（1病棟）紹介 北館改築工事 第1期工事完了

2024  
2月発行

冬号

ご自由にお取りください

健康ワンポイント  
骨粗鬆症の治療

活動報告

関連施設の紹介  
医療技術部 臨床工学技術科

あたごNEWS

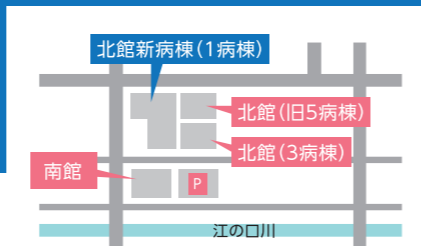
愛 LOVE クッキング  
ロールキャベツのトマト煮込み

あたごINFO



〈特集〉

# ～北館改築工事 第1期工事完了～ 北館 新病棟(1病棟)紹介



愛宕病院では、2026年度中の完成を目指して北側エリアの改築工事を進めています。

このたび、第1期工事が完了し北館 新病棟(以下1病棟)が完成しました。

第1期工事完了により、これまで5病棟に配置されていた介護医療院、精神科・心療内科外来診察室、リハビリテーション部(言語聴覚療法・作業療法)、施設課等管理部門などがそれぞれ1病棟に移設されました。

全工期が完了するまでにはまだまだありますが、今回完成した1病棟を紹介したいと思います。

基礎工事の様子 2022年6月  
南館8階より撮影



1病棟は、近い将来必ず起こるとされている南海トラフ巨大地震への備えを万全にするべく免震構造で建設されています。2021年11月に着工、2023年12月に地上10階建て、地域のランドマーク的な建物が完成しました。



2023年7月 南館8階より撮影

高知県がまとめた「南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測」によると、当院は1階の天井部分までの浸水が想定される地域にあり、長期間1階部分が水没状態になることが懸念されています。

そのような状況においても入院患者さまや介護医療院の利用者の方に対し、継続して適切な医療や介護を提供することができるよう、市道をはさんで南北に配置された病棟が相互に機能することが必要不可欠です。そこで、市道に「上空通路」を設置して南館と北館を3階部分で連結させました。

これから始まる第2期工事が完了すると、現在の3病棟(療養病棟・精神科病棟・理学療法室など)も移転し、さらに動線が改良されることになり、南館と北館の往来がより安全に行えるようになります。

さらに、大規模災害の被災時に機能できるよう、受水槽や自家発電機、医療ガス機械室を上層階に設けました。

※なお、上空通路は病棟内を通るため、外来患者さまの通行はご遠慮ください。



上空通路(南館ロータリーから撮影)

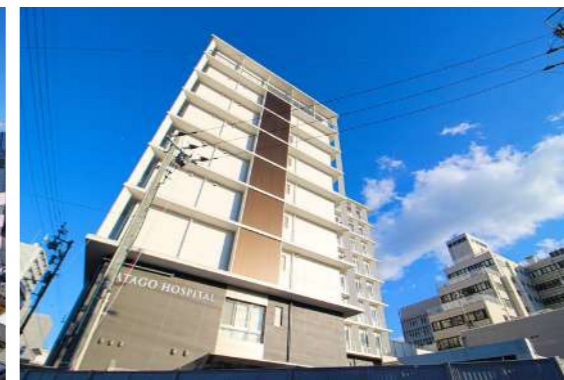


上空通路内部

外観 外観は白を基調とした明るく清潔感のあるイメージになっています。



2024年1月 南館8階より撮影



2024年1月 愛宕交差点付近より撮影



2024年1月 愛宕交差点北側より撮影

1階にはファミリーマートが入っており、これまで以上に便利になりました。



ファミリーマート 愛宕病院/S店

## 3～8階 愛宕病院介護医療院



居室



サービスステーション



特別浴室

移転した介護医療院。清潔感があり広々とした居室になりました。

## 1階 精神科・心療内科外来



精神科・心療内科外来待合

精神科・心療内科外来も明るく清潔な雰囲気。



## 言語聴覚療法室

言語聴覚療法室も温かい雰囲気、これまで以上に快適な環境で治療や評価を受けていただくことができます。



言語聴覚療法室



言語聴覚療法室前の廊下



1病棟玄関

この玄関は全工期完了までの間、患者さまにもご利用いただけます。

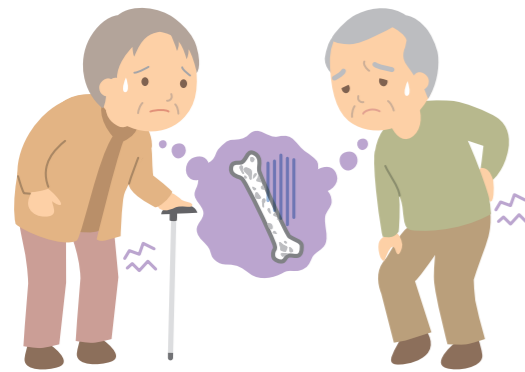
今後の予定として、旧5病棟の解体、さらに新たな病棟の建設と進んでまいります。2026年度中の完成まで、近隣住民の皆さま、ご通行中の皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

# 骨粗鬆症の治療

整形外科 五十嵐 陽一



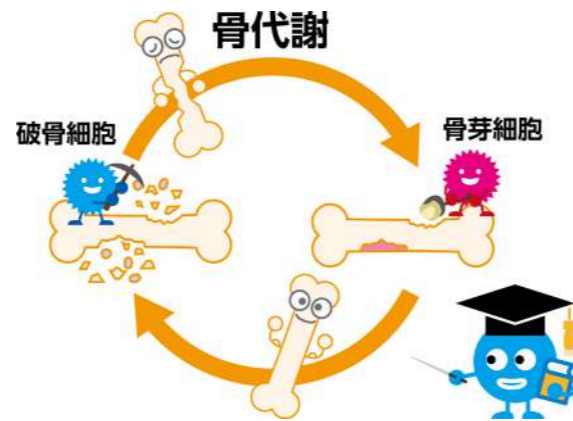
骨粗鬆症は、骨強度の低下によって骨折リスクが高くなる疾患です。その症状としては、骨量が減少した状態で無症状であるものから、腰痛・背部痛がみられるもの、一箇所から数箇所乃至骨折が起きてしまうものまで幅広く見られます。



特に高齢者では骨が脆弱であるために骨折をきたしやすくなります。太ももの付け根の骨折(大腿骨近位部骨折)、背骨の骨折(椎体骨折または椎体圧迫骨折)、手首の骨折(橈骨遠位端骨折)、腕の付け根の骨折(上腕骨近位端骨折)のほか、骨盤骨折(恥骨骨折、坐骨骨折、仙骨骨折)が見られます。骨折により以前のような生活が送れなくなったり、活動性や自立性の低下が進んでしまうことによって要介護や寝たきりに至ったりする可能性が出てきます。骨粗鬆症そのものは、初めは自覚症状なく進行していくため、実際に転倒などで骨折が生じてから検査を行うことで骨粗鬆症の診断となるケースが多いのが実情です。

## 【原因】

骨粗鬆症に至る原因としては、骨が弱くなる病気や、他の病気の治療による影響(続発性骨粗鬆症)などもありますが、多くは年齢とともに骨の代謝サイクルが変化してしまうことで起きてしまう原発性骨粗鬆症です。原発性骨粗鬆症と診断された場合、治療としては薬物療法が中心となります。変化してしまった骨の代謝サイクルが、骨を壊す方向に傾いてしまったのか、骨をつくる能力が下がってしまったかなどを骨粗鬆症の検査の中で確認し、その状態に応じた薬を選択します。またその際には、現在治療中の他の病気や血液検査の結果なども薬の選択に影響します。



## 【治療】

薬は内服のものだけではなく点滴や注射の薬があります。投与間隔も毎日のものから週に1回、月に1回、半年や年1回投与などもあり、1種類もしくは2種類の薬を併用して使用することが一般的です。また薬によっては使用期間が限定されているものもあります。さらに内服薬の中にはやや特殊な飲み方が必要な薬もあるため、薬の自己管理ができるのか、または月1回といった定期的な通院が可能か、などの患者さんの生活状態に合わせた薬の選択をしないとイケない場合もあるため、それらを総合的に判断して決定します。骨粗鬆症の治療は、一般的な病気の治療とは異なり患者さんの自覚として効果の実感が得られないことがほとんどです。それは骨粗鬆症の治療が骨折を「防止すること」を目的としているためです。このように薬での治療は骨の強度が低下し続けることによる骨折リスクを抑制することを主体としているため、骨強度と直接関係のない骨折リスク要因(転倒する、立ち上がることが難しくなってくる、喫煙習慣など)による骨折は防ぐことができません。そのため、骨折が新しく起きたから骨粗鬆症の治療の効果がなかったとは言えませんし、逆に、骨折がなかったから治療効果があった、とも言えません。実際の骨粗鬆症治療判定は、半年から一年に1回骨密度検査を行い、治療中の骨密度の推移やその間に発生した骨折の有無などで総合的に判断していきますので、根気よく治療を続けていくことが必要になります。

# 活動報告

## 二次骨折予防委員会

骨粗鬆症は、特に高齢者や女性に多く見られますが、男性や若い人にも発症する可能性があります。自覚症状がないことが多く、骨折して初めて病気に気づくことも少なくありません。骨折を繰り返してしまうと、生活の質や生命予後に大きな影響を与えます。例えば、骨折による入院や手術が必要になったり、痛みや変形が残ったり、運動機能が低下し転倒しやすくなったなど生活面でさまざまな支障をきたします。また、骨折は心臓や肺などの全身の健康にも影響を及ぼし、死亡率の上昇にも関係しています。



二次骨折予防とは、骨粗鬆症によって一度骨折した患者様が、再び同じ部位や他の部位を骨折することを防ぐための取り組みです。骨折を繰り返さないためには早期の骨粗鬆症の発見や治療が重要となってきます。

## 愛宕病院の取り組み



当院でも2022年度より医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士でチームを設立し、骨粗鬆症に対して取り組みを行っています。当院での活動としては、骨折をされた方に骨密度検査や血液検査を実施し、その人にあったお薬の処方や、骨を強くするための栄養指導、転ばないようにするための運動指導等を行っています。その他には骨粗鬆症はどういった病気なのかパンフレットを使用した病気の説明等も行っています。また二次骨折予防委員会のメンバーは日本骨粗鬆症学会が認定する骨粗鬆症マネージャーを取得し、それぞれの専門分野から骨粗鬆症に対し治療を行っています。

骨粗鬆症は、誰にでも起こりうる病気ですが、適切な治療と予防で、骨折のリスクを減らし、強い骨や健康的な生活を保つことができます。骨折を予防するには、まず自分の骨の状態を知り、治療を始めることが重要です。骨粗鬆症の診断や治療は、骨粗鬆症マネージャーがサポートします。もし気になる方がいらっしゃいましたら当院総合受付にてご相談ください。



二次骨折予防委員会が監修して作成したパンフレット



当院では5名の骨粗鬆症マネージャーが在籍しています

# 医療技術部 臨床工学技術科



臨床工学技士とは、「臨床工学技士法」に基づき、医師の指示の下、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを業とする医療機器の専門医療職種です。

現在14名(男性10名、女性4名)の臨床工学技士が在籍しており、大きく【透析・医療機器管理チーム】【心カテ・内視鏡チーム】【手術室チーム】に分かれ、各々のメイン業務を行うと共に、医療機器の安全維持、有効性維持に努めています。また、当院は二次救急医療機関のため、緊急透析・人工呼吸器・内視鏡・心臓カテーテル・手術室に関して、夜間や休日にも救急の呼び出し対応ができるよう、24時間365日オンコール体制をとっています。



透析回路の準備

## 血液浄化業務

腎臓の機能不全により生命の維持が困難となった患者さまにおいて、拡散と限外濾過という物理的現象を利用して、腎臓の機能を代替する治療法を“透析”といいます。当院では透析室や病棟にて、慢性腎不全の患者さまへの血液透析療法を主に、急性腎障害や敗血症性ショックなどの疾患や病態の患者さまに対し、持続的血液濾過透析法、血液吸着法、癌や肝硬変などによってたまった腹水を濾過濃縮する腹水濾過濃縮再静注法を行っています。また、劇症肝炎や肝不全に対して、血漿交換療法を行っています。当院では、プライミング(回路の充填)から穿刺、バイタル管理、返血回収まで臨床工学技士がチーム医療の一端を担っています。

## 内視鏡業務

当院では、富士フィルム製内視鏡を導入し、さまざまな検査を行っています。主な業務内容は、検査介助(スクリーニング～止血、ERCPの介助など)、デバイスの選定など行っており、高知県初の上部内視鏡CADEYEシステム導入により病変の早期発見に努めています。

## 医療機器・人工呼吸器

院内で使用される透析装置、輸液ポンプ、シリンジポンプ、除細動器、IABP、人工呼吸器等の医療機器を、機器の性能が維持できるように保守・点検を行います。当院では透析室で一括管理しています。人工呼吸器は肺の代行をしており、命に直結する医療機器のため、換気が正常に保たれているか毎日欠かさず人工呼吸器ラウンドを実施しています。また、睡眠時無呼吸症候群でCPAPを装着している患者さまに対し、データの解析抽出も行っています。呼吸器管理では、24時間365日オンコール体制を整え、人工呼吸器、NPPV、ネイザルハイフローなど呼吸器に関する対応を早期に行い、医療機器の安全性の確保に取り組んでいます。

## 手術室

当院の手術室では、専任の臨床工学技士を5名配属しています。手術室業務には、ナビゲーションシステムの操作、器械出しや外回り業務があります。ナビゲーションシステムとは、手術を行っている場所を撮影した患者さまの画像をもとに3次元的に確認し、併せてナビゲーションシステム専用の手術器具を使用することで重要な血管や神経の位置をリアルタイムに確認することができます。それにより、手術による危険性を最小限にすることを可能にしています。当院では脊椎手術と脳外科手術に使用しています。手術室にはさまざまな医療機器があり、臨床工学技士の器械への強みを活かし、始業点検を行い、機器のトラブルにも迅速に対応し、手術が滞ることがないように努めています。また、手術で使用する器械や器具の把握、使用方法などを熟知し、予定手術はもちろんのこと緊急手術などにも対応しています。



人工呼吸器 使用前点検



ナビゲーションシステムの操作

# あ た ご NEWS

## 忘年弁当企画

すっかり恒例となってきた「忘年弁当企画」も今回で4回目。2023年も「ザ クラウンパレス新阪急高知」さんに2種類から選べる豪華なお弁当をご用意いただき、部署(グループ)ごとに参加者を募りました。注文総数は新松田会全体で640食にのぼり、前回(2022年)同様多くの職員の皆さんに参加してもらうことができました。昼食用に持ち帰り用に、それぞれ美味しいお弁当を楽しんでもらえたようです。



サーロインステーキ重弁当



和洋折衷2段弁当

## 愛 LOVE クッキング

### 薄切り肉で手軽に

管理栄養士 門脇 亜弥



1人分  
270kcal  
塩分1.1g

## ロールキャベツの トマト煮込み

### 材料と作り方(4人分)

- キャベツ 8枚
- 豚ロース薄切り 16枚
- トマトカット缶 1缶
- 水 100ml
- コンソメ(固形) 1と1/2個
- ケチャップ 大さじ1
- 砂糖 小さじ2

- ① キャベツは1枚ずつはがして耐熱容器に入れ、ラップをふんわりかけて電子レンジでやわらかくなるまで加熱する。(目安: 500Wで2~3分)
- ② キャベツの粗熱が取れたら、芯の部分をそぎ落とす。キャベツの上に豚肉とキャベツの芯をのせて巻き、つまようじなどでとめておく。
- ③ 鍋に②のキャベツを入れ、トマトカット缶、水、コンソメを入れて火にかける。沸騰後15分ほど煮込む。



### キャベツ

キャベツは11月~3月頃に出回る冬キャベツと早春から店頭で並ぶ春キャベツがあります。冬キャベツは何枚も重なった葉がしっかりと巻かれていて、ずっしりと重く甘みがあり煮込み料理に向いています。キャベツには水溶性ビタミン様物質のビタミンU(キャベジン)が含まれていることが特徴で、このビタミンUには胃腸障害を予防する働きがあります。

丸のままのキャベツをはがすときには、葉の付け根部分に包丁で切り込みを入れると簡単にはがせます。



門脇 亜弥

## ウイルス性感染症予防のお願い

〈広報誌あたご2024冬号発行時〉

### 【面会について】

新型コロナウイルスなどウイルス性感染症の急拡大に伴い、入院患者さまの安全を確保するため全面的に面会禁止としています。ただし、主治医が特に必要と認めた場合には面会可能です。

※なお、面会制限は感染状況により変わることがあります。お電話などでご確認ください。



### 【マスク着用について】

2023年3月13日から、マスク着用は個人の判断になりましたが、医療機関などでは引き続きマスクの着用が必要です。院内には、重症化リスクの高い患者さまが多数いらっしゃいます。ご自身や周囲の方を守るため、ご理解とご協力をお願いします。

## 介護医療院および精神科・心療内科外来診察室移転のお知らせ

介護医療院、精神科・心療内科外来診察室は新病棟(1病棟)に移転しました。

## 無痛MRI乳がん検診のご案内

当院では痛くないMRI乳がん検診を実施しています。乳がんは、日本人女性が罹患するがんの中で罹患数が最も多いとされ、現在では9人に1人がかかるといわれています。乳がん検診は、原則2年に1度、できれば1年に1度受けるとよいとされています。無痛MRI乳がん検診は、マンモグラフィーのように痛みを伴うことなく検査着のまま受けることができます。これまで痛みや恥ずかしさから検診を受けることを躊躇されていた方にもおすすめです。検査はすべて女性技師が担当します。

【検査料金】22,000円(消費税込)  
【予約可能日】火・木曜日 午後  
【ご予約】ドイブス・サーチのホームページ  
「かんたんネット予約」をご利用ください。



上記に関するお問い合わせはこちらまで

# TEL(代表) 088-823-3301



医療法人 新松田会 **愛宕病院** 〒780-0051 高知市愛宕町1丁目1番13号

TEL(代表) 088-823-3301 救急専用 088-822-0009  
FAX 088-823-3306(外来受付) Mail: info@atago-hp.or.jp

愛宕病院  検索   
<http://atago-hp.or.jp>

## 診療科目・診療時間

内科 皮膚科  
外科 泌尿器科  
整形外科 耳鼻咽喉科  
脳神経外科 リハビリテーション科  
婦人科 麻酔科  
眼科 ER救急蘇生センター  
精神科 脳神経センター  
心療内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
13:30~17:00	○	○	○	○	○	—	—

※診療時間や曜日は診療科ごとに異なります。あらかじめお電話などでご確認のうえご来院ください。※愛宕病院ホームページにも掲載されています。

## 休診日:日曜日・祝日

※但し、急患は休診日・深夜も24時間診療します



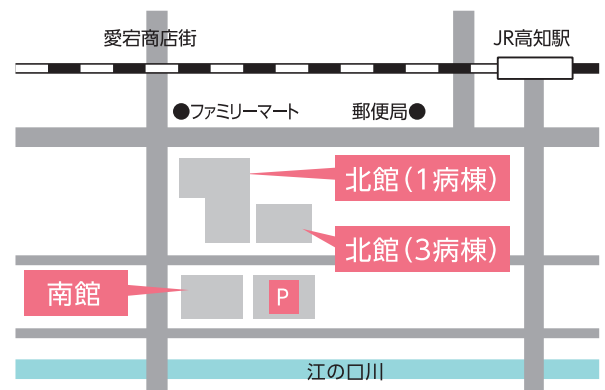
## 編集後記

年明け早々、しかも元日に飛び込んできた大地震のニュース。このような災害のニュースを見るにつけ明日は我が身と身の縮む思いがします。被災されたすべての皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、特集ページでも紹介しましたが、年末に新病棟が完成しました。準備から作業まで大変だった引っ越しも何とか終え、それぞれに運用を開始することができました。引っ越し作業終了を待って各部門の写真を撮影しましたが、やはり真新しい建物は気持ちのいいものです。

今号の表紙は高知城 梅の段の白梅。過去20年で最も早く開花したとのニュースから2週間ほど経っていましたが、咲いている木はほんの一部でした。やわらかく香る梅の花は、まだしばらく楽しめそうです。

編集担当:MI.



受付は南館玄関を左